

どなたでも自由にとって下さい。

2017年春・48号

信条・世に媚びず・粋にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行 〒583-0018
大阪府藤井寺市西古室 2-8-13
TEL・FAX 072-954-3312 吉田 進
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>
E-mail : info@kawaraban.ne.jp

Life Crossing

「乱れ打ちかわら版」あらため／季刊



春が来た！山にも里にも春が来た！（兵庫・平福から岡山・大原への街道で）

CONTENTS

「飯炊き仙人」中国へ行く	2
麻葉シンジケート（浮遊人）	3
コナン・ドイル —大英帝国を愛した男—	4
不平等は悪 大金持ちは犯罪だ	5
ある牧師の生き方	6
K子さんとの出会い	7
激動の2017年 「平和リベラル勢力」大結集で未来拓く	8 / 9
岩名雅記のCmジャーニー②④ 死に向けてひたすら生きる母	10

世界の国と街を訪ねて⑱ エルサレム3000年の変遷	11
ぼやぼやしてたら、暗黒社会に!? 知っていますか？自民党改憲草案のこと	12
70歳の手習い 夫婦で社交ダンス（続編）	13
越後の良寛さんの魅力③	14
大仏師松本明慶作 十二神将申歳安底羅神	15
恭子の日記⑨ もうすぐ嫁ぐわが子へ	16

「飯炊き仙人」中国へ行く

「銀シャリ屋・ゲコ亭」の村嶋 孟^{つとむ}さん



50年間、夢にまで見た「銀シャリ」の味を追求し、「飯炊き仙人」として敬愛され、たくさんの方ファンをもつ村嶋孟さん（87）が「銀シャリ屋ゲコ亭」を閉め、中国へ出立されてから早や4年。どうされてるかど気になる正月、一時帰国している彼から年賀状が届いた。

「宿昔^{しゆくせき}星雲^{せいぐん}志^し 蹉跎^{さたろ}白髮^{はくわつ}年^{ねん}
誰^{たれ}知^ち明^{めい}鏡^{きやう}裏^ら 形影^{けいえい}自^じ相^{さう}憐^{れん}
1月盧溝橋にて涙し、12月20日北京地壇公園にて護国豊穰を祈願し、本年を締めくくりました。各地にて優遇を受

け大人の国。若人の意欲。日本も水をあけられた感多々あります」と。

漢詩の意味は「昔は大きな夢も見つた。いつしか白髪が増え、鏡に映るわが姿、皺のそれぞれいとおしい」。村嶋さんは、銀シャリ実験場を広大な中国の地に求め、その味を「コメ食う」13億の民にふるまいたいと、近くて遠い国である中国行きとなったのだろうか。村嶋さんを訪ね本音をお聞きした。

—— 街を歩けば「銀シャリ、ゲコ亭流」とか「銀シャリ・ゲコ亭」の看板を掲げた食堂を見かけま

す。村嶋さんの消息を尋ねるファンも多い。堺の店を閉められた理由は？

村嶋 50年間、家族総出で毎日15時間働きました。1日のお客さんは、300人から時には600人が長蛇の列。それに応えるため長男と次男は朝2時起床で仕込み、妻は3時、僕は4時に起きて9時に開店し、昼過ぎまでの営業でした。私は、1日3升の米を15回炊き、化学調味料一切なしの惣菜を作りました。

まあ、閉店の理由は一口に言って、寄る年波には勝てぬ、体力の限界ですね。次に、車でご来店のお客さんを狙い打ちする民間委託の駐車違反取締り隊の出現ですわ。店前は幅50mのゆったりした大通りですが、食事をして出たら「ハイ、1万5000円の罰金」でしょ。気の毒で、やっつけられませんか。大通りに有料・無料の駐車場設置を行政に要請したんですが相手にしない。行政はシャッター通りをなくすと言いつつ、一方でそれを作っている。

—— 「この国はアホな役人 国つぶす」ですわ。中国へ行かれた動機は？

村嶋 2016年1月、北京で「銀シャリ」炊きの実演をしたんです。150人ほどの報道陣が来

てね。その後、「盧溝橋」へ行きたかったので連れて行ってもらい、戦争記念館で涙しました。それが放映され、また飯炊きを実演したわけです。

3ヵ月後、中国の担当者ど堺の竹山市長さんが一緒にやってきて、3年間の中国行きを契約。5月に家族同伴で中国へ行くことに。今、その1年目です。

—— その招聘状がこれですか。村嶋さんのイラストがトップに入っていて「村嶋孟氏に銀シャリイベントの親善大使として努めていただくようお願い申し上げます」とありますね。僕は1981年中国へ行きました。細長い「中国米」を食べながら、中国の要人に「うまい日本米づくりをされたら？」と進言したところ、「コメの味はそれぞれ。中国のコメは、人民がうまいと思ってるから、それでいい」と応じたのにはギャフン（笑）。ところで、中国での具体的な仕事は？

村嶋 東北（旧満州）は、昔、日本の開拓民が残した稲作を踏襲し、ササニシキ、アキタコマチ、コシヒカリを作っています。でも今人々はコメを食べなくなりました。中国は「社会主義的資本主義」を唱えてコルホーズ（集団農業方式）をやめて請負制度を導入した



天神橋筋商店街2丁目

ため農民の収入が減り、米の普及に一役買わせるために私を呼んだというわけで、中国では大歓迎してもらっています。

役人が6種類位のコメを持ってきて、私に選別してくれと。私はいやだと言います。農民が一所懸命作ったコメに優劣はつけ難い。第一、田んぼも、おてんとさんの照り具合も違うでしょ。だから、みんな混ぜて炊き、それにサインして密封して北京へ送るんですわ。そして、小さな米屋は、私の名前を使って売り出す。私自身がブランドになってるわけ。一方、日本で中国人の「爆買い」品は、化粧品、薬、炊飯器がありますが、中国の炊飯器は高くて品質もいまいち。その品質向上に対する私への期待もあるようです。つまり私は写真を撮られたり、語ればブランド商品になったりの宣伝マンなんです。ある店からは

チェーン店をやってくれという声もかかる始末。ワツハツハツハ。そんなことしたら、村嶋さんは帰らぬ「飯炊き仙人」になってしまいますがな。

村嶋 どうなるのかな。まあ是非々々、媚びずにYES、NOはつきりで、やっていますよ。与謝野鉄幹の「6分の俠気」では共倒れです。「3分の俠気」でいかに。

—— 近くて遠くなった中国。彼らと仲よくなるにはどうしたらいいと思いますか。

村嶋 やはり個人の人格でしょう。日本は中国への侵略の歴史を反省し、アメリカ一辺倒から脱却し、まず文化交流をして国民、人民同士が仲良くなること。都知事だった石原慎太郎のように「チャンコロ」「支那人」とい、それに無自覚な国民が多いようでは、国際人にはなれませんが。もつと謙虚にならんと。

村嶋さんと同年輩の僕は、中学2年で軍需工場で覚せい剤のヒロポンを飲まされて徹夜で作業した。ご褒美は菊のご紋章入りの「恩賜のタバコ」。村嶋さんは「天皇は日本の神様だから、足がないと信じて疑わなかった」軍国少年だったが、敗戦を境に世の中が大転換。昨日の善は今日の悪となり、大

人の変わり身の早さを目の当たりにし、信じられるものは何も無いという。そこから世の不条理を撃つ自らの心情を「あほだら経」と称して市井でまっとうに生きる志を投げかける。権威あるものを疑い、男気溢れる心意気

麻薬シンジケート (Sindicato del Narcotràfico)

浮遊人 ふゆうじん

筆者は1950年生まれ
スペイン語研修中の年金生活者で
メキシコ・シティ在住

聞き捨てならない話なので……ご容赦願いたい。2006年にPAN(Partido Acción Nacional = 国民行動党) 2期目の大統領Felipe Calderónが、麻薬



ランダム・チェックポイント(en)で活動中のメキシコ軍 (メキシコ麻薬戦争ウィキペディアより)

シンジケートとの戦いを宣言した。その結果は悲惨でなんとこの10年での死者はシンジケート・警察・軍併せて17・4万人、行方不明3万人に及ぶという。この間30人の麻薬シンジケート

と勇氣と反骨精神で生きてきた村嶋さん。家族をこよなく愛する人である。34歳から50年間もぶれずに夢だった「銀シャリ」ひと筋を生きた彼に頭が下がる。「銀シャリ」って、まさに「平和」のシンボルなんだなあ、と思う。

のボスを殺害したが、この戦いは勢いを増しており、毎日のように事件が起きていく。いわく「どこどこで銃撃戦があり、双方合わせ30人死亡」とか「どこどこで、袋に詰められた手足の無い死体10人分が遺棄されていた」。兎に角、麻薬シンジケートは警察や州政府首脳やなんかと癒着し(2000年まで71年間も政権を独占したPRI (Partido Revolucionario Institucional = 制度的革命党) の時代に癒着が蔓延ったと言われている) 手の打ちようがない。戦いを宣言した政治家や弁護士なんかもいたのだが、家族が襲われる……本人がダルマ状態で発見される……といった、信じられない事件が発生し続けている。毎日のように安全(危険?) 情報や、多抗争の激化している州や地域についての注意事項(外国人の立ち入り制限、禁止) が更新される……。触れたくない話だが、メキシコの残酷な現状である。

前々号(「Crossing No.46」)の10頁の文章で、以下の誤りがありましたので訂正します。

(誤) Estados Unidos de Mexico= エスタドス・ウニドス・デ・メヒコ

(正) Estados Unidos Mexicanos= エスタドス・ウニドス・メヒカーノス



シャーロック・ホームズ (長短60編)

ロナン・ドイル (Sir Arthur Ignatius Conan Doyle) は、スコットランドの首都エディンバラで1859年に生まれた。19世紀を40年間生き、20世紀を約30年間生きて、1930年に71歳で亡くなったが、彼の生まれた年は、彼が後に入学するエディンバラ大学の先輩ダーウインが『種の起源』を出版した年でもあった。『宝島』や『ジキル博士とハイド氏』で著名なロバート・ステイブンソンもエディンバラ大学出身で、ドイルより9歳先輩の1850年生まれだが、ステイブンソンはサモアで、20世紀を迎える前に、44歳で病没した。ドイルは医学部に入学し医師となるが、シャーロック・

ロナン・ドイル

「大英帝国を愛した男」

鎌倉市在住 市川隼

ホームズシリーズとなる、『緋色の研究』を1884年に世に問うて、「探偵作家」として名声を博する事になった。

英国は、19世紀中葉までには世界の工業力の50%以上を手中にして世界を制覇し、カナダ、インド、オーストラリア等を植民地とし、多くの保護国を手にかけていた。その後、米国やドイツの産業革命が急速に進み、英国一国支配が揺らぐことになり、20世紀に入り、第一次世界大戦へと突き進む事になるが、大英帝国の興亡を背負っていたのが、ドイルでもあった。南アフリカの鉱山権益争いで、オランダ系の入植者ボーア人と英国人との間の争いをボーア戦争と呼んでいるが、第二次ボーア戦争が勃発したのが1899年で、ドイルは医師として従軍した。英国の残酷な行為が国際的な批判に晒された時、『南アフリカ戦争

の原因と行為』を発表し、英軍の行為を敢然と擁護し、愛国主義者として、国王エドワード7世から「Sir」の称号を与えられた。第一次世界大戦での独逸との戦いでも、ドイルは戦線に赴き、兵士たちを叱咤激励した。植民地での英軍の擁護も、ヨーロッパ戦線での英軍への激励も、ドイルにとっては等価だった。一方ドイルは、無実の罪に貶められたユダヤ女性やインド系青年を目的の当たりにし、彼等の無罪を勝ち取る為の援助を、惜しみなく与える熱血漢

でもあった。



エディンバラ (Official Guideより)



London Baker Street (S・Holmes Museum HPより)

ドイルが描くホームズは、1854年生まれとされている。ほぼ筆者と同じ年齢で、同時代を背景に活躍し、植民地に絡んだ事件を登場させ、相棒ワトソンも、アフガニスタンで負傷した軍医でもあった。一作目の『緋色の研究』は、一夫多妻を是としていたモルモン教徒に絡んだ事件を描き、2作目の『四人の署名』では、インドから帰国し失踪した父親とその娘の事件を描いた。だが、読者に熱狂的に支持されるようになったのは、創刊間もないサザランド誌に掲載された短編であり、1891年に掲載されたから2年間も掲載され続けた。第一回目的の作品『ボヘミアの醜聞』では、ホームズが「あの女」と呼ぶ、恋するアイリーネ・アドラーを描き、そして、ホームズを書き続ける事に

情熱が褪せつつあった23作目の『最後の事件』では、宿敵モリアーティー教授と格闘するホームズを、教授共々ライオンパッサの滝壺に落下させて、多くの読者を失望させた。しかし乍ら、ファンの強い要請に抗しきれず、ホームズを滝壺から生還させて、1903年の『空家事件』で再登場させ、長短60編のホームズを書き上げた。山田洋次の『男はつらいよ』も、テレビで死んだ寅次郎を映画で復活させたが、読者の期待に応えざるを得ない事は、作者にとって痛し痒しだが、読者は大歓迎だった。

石炭ストーブの煤や、立ち込める霧で暗くなった、ガス燈が淡く灯る冬の夕方のロンドンのかげり、蹄の音を立てて2頭立ての馬車が着く。馬車から降り立ち、階段を上る物憂げな美しい女性を、ホームズとワトソンが待ち構え、ホームズの手には細長いパイプが握られている。さて、依頼主は、如何なる事件を相談しに来たのか。深い闇に包まれた新しい事件が、読者の前に現れて来るのだろうか。

私は言いたい 不平等は悪 大金持ちは犯罪だ

東京江東区 三田 栄考

「資本主義は最も悪い政治制度である。但し、これまで存在したどの制度よりもましではあるが」と言う賢者がいる。地球上でずば抜けた知能をもつ人類が「こんな矛盾だらけの制度」に代わる制度を創造できないものか？ 多くの人は「資本主義」という言葉を使わない。社会主義者と自称する人はいるが、資本主義者と自称する人はいない

ではないか。つまり「資本」が社会を支配する悪いイメージを「自由主義、市場経済」と置き換えごまかしている。経済体制は明らかに資本主義なのに。

現在ではグローバル化した金融資本主義時代であるが、融資本主義時代では排出される矛盾を隠しごまかすのに、修正する努力をしてい

表1 貯蓄額の世帯分布 (2013年)

	相対度数		累積相対度数	
	世帯数	貯蓄量	世帯数	貯蓄量
なし	0.175	0.000	0.175	0.000
50万未満	0.054	0.001	0.228	0.001
50万～	0.042	0.003	0.271	0.005
100万～	0.083	0.014	0.354	0.019
200万～	0.068	0.019	0.422	0.037
300万～	0.065	0.025	0.487	0.062
400万～	0.036	0.018	0.523	0.080
500万～	0.099	0.065	0.621	0.145
700万～	0.068	0.063	0.689	0.208
1000万～	0.091	0.125	0.780	0.332
1500万～	0.052	0.099	0.832	0.432
2000万～	0.068	0.187	0.900	0.618
3000万以上	0.100	0.382	1.000	1.000
合計	**	1.000	**	**

*厚労省「国民生活基礎調査」(2013年)

日本人の上位10%の階層の貯蓄合計が全体の38%を占め、下位80%の階層の合計が約38%。国民の半分合計で6%しかない。

つまり上位10%の人は下位の8人分、8倍の貯蓄をする余裕がある。

大つぴらにこれを礼賛する人はいない。資本主義はほつといたら問題を拡大再生産し、封建時代並みの限られた支配者と大多数の抑圧された貧乏階級に分断させてしまうことを誰もが知っている。

る。資本主義は良くも悪くも競争社会で、強きを助け弱きをくじく制度である。敗れて滅亡、貧乏になり、勝った方が富を集積・集中するのを、柔らかに「勝ち組・負け組」と称して努力が足らなかつた

から仕方ないと言わなければいい。富裕層とまろやかに言い換えて批判をかわしている。

奴隷制では身体をムチで、封建時代なら権力で恫喝して、収入を取り上げてきた。

資本主義は雇用という形態で搾取を行ってきた。現代は庶民が許さないから遥かに狡猾な方法で富を吸い上げていく。金利という形で過去の努力の報酬とか、使わなかった我慢の見返りとかの理屈を付けてお金を吸い上げる。近年は金利が下がって富の蓄積の格差がこの面で減って来たのは幸いだ。

しかし、ITとかネットとかで我々が何げなく開いた画面だけで先進的頭脳家に広く薄く報酬が入る。世界中から広範囲に掠め取るから取られた方は意識がなく、膨大な利益に憤激は起こらない。ごく一握りのスポーツなど恵まれた才能家も同じだ。彼らの何億という収入は間接的に我々が払っている、いや払わされている社会の仕組みを見抜き抗議すべきだ。ファンドや金融投資家も然り、極々一部の優れた技術者がそれゆえにも

の凄利益を上げて誰も文句を言えない。庶民の目に見える被害がないから、痛みを感じないから。知らぬ間に我々はそんな社会に慣らされている。おまけにトリクルダウンなんて理論がまかり通るのはケシカラン。「富める者が充分富めば、貧しい者にも自然に富が滴り落ちる」というのだが、貧しい者は金持ちの金が残るまで待つとけ！とは何たることだ。貧乏人は金持ちのお余りをもらえるまで待つ！との発想法は庶民を舐めている。

保守党政治家が平気でこんなことを言えるのは我々庶民が不公平・不平等を受け入れて、反撃しないからではないか？ 権力者は、庶民を見過ごさせる、黙らせる、許容させる方法を覚えた。それは封建時代よりも遙かに狡猾な手段だ。大衆は痛痒を感じないから格差や不平等が拡大しても体制を変革するまでにはないのが世界の实情ではないか。私は言いたい、不平等は悪だ、大金持ちは犯罪だと。

ある牧師の生き方

共生庵——農・自然・ひと——

広島県三次市 荒川 純太郎



神学部を終えて大阪島之内で伝道師で地域と関わり、マレーシアのサラワクで教会の自立支援、帰国後は広島市で牧師、園長。そして 自然塾——共生庵を開き、今年から息子の共生さんにバトンタッチ。現代社会では異質？な人生を重ねてこられた荒川さんの生き方をご自身に紹介してもらいました。

55歳になったとき「このまま人生を送っていいのか」と問うた。

責任を持っていた教会は色々な意味で大変居心地の良い、やり甲斐ある働き場であった。だから、そのまま続けられまだ当分ずる優柔不断で続けられたことだろう。しかし気がつけばすでに13年経っていた。このまま続けて人生を閉じてもいいのかと自問した時「いやいやそうじゃない、死ぬまでにもうひと仕事したい」との強い思いが湧いてきた。辞任決断を促したポイント・動機であった。

その時実感したことは、55歳という年齢のこと。人生の峠は55歳(?)。この時期を逸すると、この先肉体的・精神的・社会的にも可能性はほとんど狭められていく。今、決断しなければきつと出来なくなるだろうと考え、連れ合いに「辞任を申し出るがいいか」と問うた。ふたこと目にOKが出たので決断。

「バケットリスト」と言う言葉がある。共生庵の稲刈り体験に参加したアメリカ人大学教授に教わった。「日本で念願の稲刈りが実現できても感動した、夢が叶えられた。これは我がバケットリストにあったことだ」と。

これは「死ぬ前にやりたい事リスト」の事。辞書には俗語に「kick the bucket」(バケツをける)と出てくる。「死ぬ、くたばる、往生する」という意味。それは自殺をする人が吊り

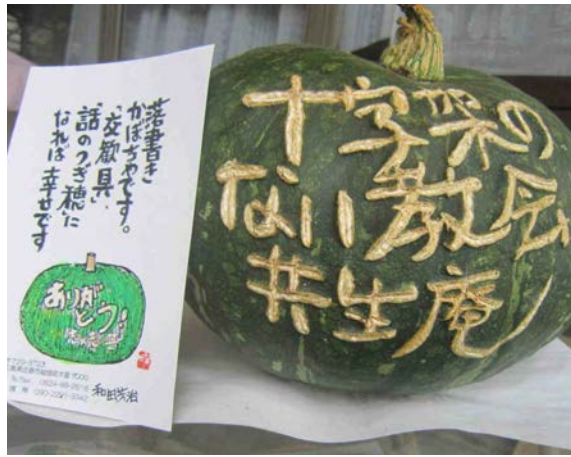
下げられた縄に首をかけるために踏み台にするバケツのこと。その上に乗り、意を決する時にバケツを自分で蹴り飛ばす行為が語源となっているという。別名「棺桶リスト」とも呼ばれている。私の場合「このままで終わりたいくない。死ぬまでにやっておかないときつとひどく後悔することになる」というマイ・バケットリストにあったのが農的暮らしである。

その動機はいたって簡単。出来る限り自給自足の生活を試みたいと言う願望であった。根底にあったのは中山間地域の農村で自ら安全な食べ物を作って食べるスローライフをめざしたいという願望だ。これは長年秘かに心の奥底に持続させてきた願いだ。「それにして何故移住先が農村エリアだったのか」とよく尋ねられる。その時は、その背景にある私のアジア体験を語ることにしている。

東マレーシア・サラワク州(旧ボルネオ島)の少数民族イバン人メソジスト教会の自立支援のお手伝いに遣わされた経験(1978~1982年)がある。生き方に大きな影響を与えられた貴重な体験は、私の農村志向に一層の拍車を掛けたことになる。

イバン人は熱帯多雨林地帯を網目のように流れるジャングルの河川沿いにロングハウスを建て共同生活を営む。彼らの大自然と共存する見事なまでのシンプルライフから、現代先進国

の都会生活がどんなに歪んでいるかを
幾重にも思い知らされた。森はスー
パーマーケットのようなものという彼
らは、自然の恵みをなんでも衣食住に
活かして生きる。そのスローライフは
衝撃であった。そこには大自然への畏
敬と謙虚さが溢れていた。



広島の中で牧師と幼稚園園長を務
めながら、実に多様な意味で人生に悩
み、心病む人たちに会ってきた。必
要に応じて対応してきたが、いつも大
きな限界を感じていた。

そこで常に気づかされたことは、心
と体のバランスが余りにも大きく乖離
して崩れており、頭でっかち、心でっ
かちになってしまっている事だった。
このアンバランスの修復には、心や頭

はちよつと横に置いてでも、もつと人
が自然の中で土や水・草花・木々・自
然の恵み等に触れて癒しや助けを得る
ことだ。そこから本来の人間らしい感
性を取り戻すことが必要ではないかと
痛切に思うようになっていた。このこ
とが共生庵を始めた動機に大きく影響
している。

自分たちが引退後に田舎で隠遁生活
をしたいという願望でなく、それを必
要としている他者と共有することでお
役に立てることができればという開か
れた願いは、当初から重要な要素で
あった。

宗教・思想・信条を越えてあらゆる
人と出会い受け入れる。十字架を振り
かざしたり、屋根の上に立てることは
しないが、あえていえば「キリスト教
精神」を公にしてどこへでもかけて
いき、また迎えると言うことだろう。
大自然のふところに抱かれ、黙想しな
がら自らを謙虚に見つめ直し、人間は
限りあり弱く罪深い存在であることを
思い知らされることが根源的に大事な
ことだ。そこから人を越える大いなる
創造主によって生かされているとい
うメッセージが届くことをひたすら願っ
ている。

人生の峠でバケツを蹴って踏み出し
た。15年を経て、今振り返ってみて我
に悔いなし。その決断は間違っていな
かった。さて更に次のステップをどう
踏み出すのか!?

K子さんの出会い

東京江東区 川名 敦子

教会に行く途中に、いつも通る道で
葬儀の看板が出ていた。何気なく通り
過ぎたのだが、そこで牧師が出張して
教会の関係者の葬儀を、行うことにな
っていることを知った。亡くなった
方は他の教会員で、娘K子さんが、ア
メリカから帰ってきて葬儀を行ったそ
うだ。

そのK子さんは葬儀から二か月も
経っているのに、時々日曜日に、わが
教会に来られる。

偶然、昼のお弁当を食べる時、彼女
が私の隣に座ったので、いろいろと事
情を聞いた。亡くなったお母さんは80
歳、一人暮らしだった。K子さんはア
メリカに行つて結婚している。弟さん
も別居しているという。お母さんは、

自宅で亡くなって1週間ぐらいたって
腐乱して発見されたそうだ。「不審死
ということ、いろいろ調べがあつて
ぐちゃぐちゃになって返された」と、
悲しんでいた。

それで、当然、お母さんの家に滞在
しているのだと思っていたら「ごみ屋
敷なんです。とても住めません」と、
友人のところや、ネットカフェに泊
まって荷物の整理に通っているとい
う。「今度の水曜日の朝には、友人の
家も出なければならぬので、健康ラ
ンドにでも行こうと思うの」そんな話
をしながら昼の食事を済ませたが、ど
うも気になって仕方がない。私は初対
面だったのに、「良かったら私の家へ
いらっしやい」と誘った。それから彼
女は、何度か泊まりに来た。

最後まで付き合えなかったが、納骨
も済ませアメリカへ帰った。「今ポ
ストン空港に着きました。お母さんの
代わりはできないけれどと言われたけ
ど、お母さんのように思え
た数日でした」とメールが
来た。

彼女の住所も知らない
し、こちらで彼女が我が家
に泊まったことを誰も知ら
ない不思議な出会いであつ
た。2度目のメールが来る
かどうか分からない人だ
が、なぜか娘のようにふる
まっていた。



葬儀場の脇のサルズベリの花

激動の2017年 「平和リベラル勢力」大結集で未来拓く

大阪元衆議院議員 **服部 良一**



混沌たる時代に抗していよいよ激動の2017年がスタートした。1月20日にはトランプ米大統領が就任、春には韓国・仏大統領選があり、日本では年明け早々の2月か、あるいは年末には衆院選が間違いなくあると思われる。

昨年、英国のEU脱退、米大統領選のトランプ勝利は世界に衝撃を与えた。2008年金融危機にも見られたように新自由主義の行き詰まりに直面する世界の政治経済は漂流している。世界の金融やグローバル資本のトップブランチである米国自身が国内の労働者や若者からNO!の声を突きつけられ大きな政策転換を迫られているのは事実であり、しかしその方向はまだよく見えない。大きな政府か小さな政府か、市場経済主義か福祉政策かその解を見いだせないままに、今世界は共生か排外かの混沌な世界に突入しているようだ。日本でもパナマ文書でも明らかに富層の税金逃れや大企業の386兆円に及ぶ内部留保に怒りが向けられるだけでなく、弱い立場の人やマイノリティに不満のはけ口を求め

る時代風潮が蔓延している。これをどのように転換する政治の理念を打ち立てていくのか、まさに世界が問われている。

すべてが裏目の安倍外交戦略

世界を俯瞰する外交というバラマキ外交を進めてきた安倍政権にとって、次期衆院選での勝利は極めて大きな意味をもつ。衆院選に勝って18年9月に3期目の自民党総裁選をゲットし、悲願の憲法改正の国民投票を実施、東京オリピックで花道を飾るーそんなシナリオだ。早ければ今年の通常国会の冒頭で解散する選択肢もあったが、果たして安倍政権が描いた戦略はすべて裏目に出ている状況だ。

その第一が成長戦略の柱と位置づけしたTPPー環太平洋経済連携協定の頓挫である。数年越しに協議して12カ国で合意に至るも、トランプの登場であえなく破綻。それでも国会で強行可決を図る事態は滑稽でもあり哀れでもあった。

第二は、北方領土の返還に期待を持たせて、自民党二階

幹事長に「失望」と言わせた日露交渉だ。領土問題どころか「特別な制度」の明文化もなく3000億円の規模の経済協力だけが残るものとなった。少なくとも安倍政権の当初の期待とは大きく違う結果となった。そしてむしろ「返還」された島に米軍基地が配備される可能性に対するロシア側の懸念がクローズアップされる顛末になった。

第三は沖縄北部訓練場返還式典直前のオスプレイ墜落事故である。名護市辺野古の新基地の建設と高江のヘリパッド建設の強行を進めたい政権は、遊休の北部訓練場約4000haの年内返還を米側と決め12月22日に返還式典を画策、基地建設と衆院選沖縄をにらんだ突破口にする予定であった。しかし、その直前の13日過去数々の墜落事故で悪名高いオスプレイが名護市安部の海岸で夜間空中給油中に墜落し大破し衝撃が走った。海岸から80m、人家から300mの距離であったが、在沖米軍司令官は「住宅に落ちなくて沖縄県民は感謝すべき」と言って沖縄県民の激しい怒りを買った。この発言と

言い、高江に派遣された大阪府警の「土人・シナ人」発言といい、沖縄に対する侮蔑的、植民地主義的な感覚をあらためて露呈した。

最後に安倍首相の12月28日真珠湾訪問である。マスコミはこぞって礼賛するが歴史に反省のない「和解」はまさに空虚であり、ただ米国への従属を際立たせるパフォーマンスになった。しかも帰国した稲田防衛大臣は翌日靖国神社に参拝、「オバマ政権のメンツをつぶした」とする米国をはじめとする世界から不信と怒りを買った。中国の批判が的確だー安倍首相に対しては「何度の抜け目ないパフォーマンスをするより、一回の誠実で深い反省の方が意義がある」、稲田防衛大臣へは「真珠湾のいわゆる『和解の旅』をこれ以上ない皮肉なものにした」とコメント。過去の戦争を「聖戦」とし極東裁判すらも認めない国粋主義の歴史観を世界はお見通しなのだ。

安倍政権が描いた外交ー解散戦略はことごとく裏目になっている。

横暴な強行採決

さて昨年の臨時国会は衆参与党三分の二の数の暴挙で、TPP・年金カット法・カジノ法が強行採決された。TPPが頓挫し、成長戦略は「賭博」とばかりに依存症対策や経済効果の有無などなんの議論もなしにカジノ法を成立させ、世論の大きな不信を買った。刑法では博打行為は禁止されているが、それを解禁してまでやることなのか！今でも540万人もの依存症がいるギャンブル大国日本、カジノはパチンコや公営ギャンブルとはまた質も仕掛けも違う。私は韓国の江東ランドにあるカジノに視察に行ったが街中質屋だらけで、高級車を質に中小企業の社長クラスが会社の資産を吹っ飛ばして賭博にはまりホームレスになるケースも多い。世界的にはカジノは下火で、ましてや地域の経済効果は期待出来ない！あつて反対が多いのだ。

年金カット法では物価賃金スライドの運用に際し、物価上昇でも賃金がマイナスなら年金を切り下げる制度にする

など、年金支給額をとにかく抑えるのに必死である。特に低年金者ほど大きな影響を受ける。最低保障年金制度の導入を真剣に検討すべきである。福祉を切り捨て軍事費偏重の予算編成も問題だ。軍事費は3年連続で過去最高額を更新し5兆1251億円、加えて今回の第3次補正予算に前倒し計上するミサイル関連経費を合わせると約5.3兆円にも

のぼる。一方社会保障費は高齢化に伴う自然増を圧縮し、高齢者医療保険費の特例の見直しや介護保険のアップ、生活保護費の削減など特に高齢者への厳しい負担増となった。介護士や保育士の待遇改善も焼け石に水、教育費や中小企業対策費も削減された。税は所得の再配分機能である。金持ちから多くの税金をとり、社会福祉の形で貧困層に配分していく。しかし今は富裕層や大企業の税金を減らし消費税で大衆課税を強化することで、再配分機能は著しく劣化しているのだ。

野党共闘で政治を変えよう！

さてこうした安倍政権の暴

走を止めるためにどうするか、きたる衆院選への野党共闘の真剣度が問われている。昨年の参院選での野党共闘の実績はすでに証明された。特に原発やTPP、基地問題な



2016年12月16日 おおさか総がかり集会「沖縄に基地はいらない」扇町公園

中で、社民・共産・自由の3党で選対をつくり最終的には民進党を引っ張り込んで、参院選を上回る大差で勝利した。今政党別支持率を見ると自民1強が続いている。ところが参院選では野党

共闘が実現すると無党派層の投票率も上がり、自民・公明の与党層からも支持が寄せられた状況がある。有権者に希望ある選

今日衆院選に向けて野党共闘の一番のネックは連合指導部の姿勢である。共産党と共闘や政策協定ができないと言いつつ、民進党の支持率が低迷するなかでどのよ

ど争点がはっきりした福島など東北、沖縄などの勝利は我々に多くの示唆を与えた。また昨年の10月の新潟県知事選の意味するところは大きい。連合が自民候補を応援し民進党が態度を決められない

うな勝利の方程式を考えているのか疑問である。今はなんとしても自民・公明・維新の議席を一人でも減らし安倍暴走政治にストップをかけることに全力をこぎ込まなければならぬ。そのためには違

は違いとして認め合って大同団結して闘う時代なのだ。その大局を見失ってはいけない。幸い昨年秋4野党と市民連合がたびたび会合を重ね、昨年末の4党の会議では選挙協力と政策協定制りに向けて実務者会合をスタートすることで合意した。一歩ずつ前進していくものと信じている。

そして最後に付け加えるならば、日本の政治に「平和リベラル勢力」の結集が求められているのではないか。社民党もその一つの基軸として日本の様々な平和勢力、保守リベラルを含む政治結集が必要

な時代ではないかと痛感している。憲法九条改悪を狙う安倍政権やその支持母体の日本最大の右翼組織―日本会議の野望を打ち砕くには、間違いなくことが北東アジアや世界の平和につながることもまた間違いがない事実だ。この時代の大きな節目に、我々一人一人がどう行動し発言するのかが問われている。まさに2017年ではないだろうか。

時間を遡行できないならばせめてこの脚で /

岩名雅記の Cm ジャニー24

死に向けてひたすら生きる母

いわな まさき / 舞踏家、映画監督 (フランス/南ノルマンディ在住)

昨日は主治医の往診が数週間ぶりにあった。結論は新年6日にまた往診とのこと。当初今年いっぱい持てばいいと言っていたものが正月6日に再度往診とはよほど103歳と7ヶ月になる母の状態がひどいということだ。なんでも心臓と肺の具合がすこぶる良く肺に水分が残留していないとのこと。とはいえ手足はこれ

以上膨れあがるができないうというほど水が溜まっている。

「生きるということは死に向かつて歩み続けることだ」という言い方があるから、71歳の僕はもちろん、まだ小さな息子ですら死に向かつて生きていることに変わりはない。さはさりながら母の場合にはあと数日、あと数週間というふう目の前に死が厳然と限られたカタチでその姿を現しているわけで我々とは比べるべくもない。

10月に帰国したおり「マサキだよ」と声をかけると母はうつすらと眼を開いて「おや



岩名雅記ファミリーと晩年のお母さん

母を看ながらこうして人はひといきひときき呼吸しながら静かに生命を折りたたみ、やがては広大無辺な向こうの世界へ渡っていくのだなあ。と今痛切に思った。概念でしかなかった死というものか「一緒に寝ないかい」と誘われたことでより具体的に現実味を帯びたものに

マサキかい。ここで一緒に寝ないかい」と自分が寝ている狭いベッドに眼をやった。あのとき俺と一緒に寝るべきだなと思ったがそう出来なかった。母は単にぼけてきて息子である僕を昔の恋人や父と取り違えたのではなく、何か大切なことを示唆しているように思えた。

バタイユ的にいえばおの個人に生涯で一度だけ許されておろし、それゆえにエロスの頂点でもある「死」に同伴しないかと誘ったのかもしれない。それはとてもエロティックな瞬間でもあったから一緒に寝たいとあのとき真摯に思った。



若い頃のお母さんと筆者

なった。

僕ら家族が帰仏する来年正月3日よりさらには母が生きながらえれば僕は母の死に目に会えないことになる。どこかで決着したい、させたいと思う俺は薄情なのかと自問してしまふのだが、心根はただあちらの世界へ渡る母を見届けたい、見送りたいという気持ちでいっぱいなのだ。

母は限られた命の涯を知ってか知らずか穏やかそのものだ。死の汀に立てば豹変するかもしれないけれど今は恐れも不安も苛立ちも一切見せることなく、ときには笑みさえみせながらひたすら死に向

かって生き続けている。見事なものだと心の底からそう思う。

むかし読んだトルストイの「イヴァン イリイチの死」では死にゆく自分にもどうしても耐えきれぬイリイチが病床を見舞った息子にふとしたことがキツカケで愛を投影することで、安んじて死に赴いていくという過程を見事に描写している。

しかしながら母にはイリイチのような努力／鋭意さえも必要ないのだろうか？

自分がいま死ぬわけではないけれど幸いにもこの数週間いっしょにときを過ごさせてもらったおかげで私は「死のリハーサル」をさせてもらった。気持ちの中では母と添い寝している自分が今ここに

筆者岩名氏より「1月17日朝方お母さんが亡くなっていた。静かな寝顔だったそうです」との連絡をいただきました。享年104歳。謹んでお悔やみ申し上げます。
(LIFE CROSSING編集部)

エルサレム3000年の変遷

大阪府中央区 馬場 正雄



異邦人が勝手に付けた嘆きの壁。ユダヤ人は2000年前に建設、増補したヘロデ王の元の神殿に対してその周囲の西の壁で折っているわけ。地上に15m以上、地下も10m以上。

ホームページは「乱れ打ちかわら版」で検索して下さい

トランプ大統領の「エルサレムを首都と認める」という発言があった時期、私はエルサレムに5泊した。短期旅行者が厚顔無恥を省みず敢えて紹介を試みる。

1947年ベン・グリオンが建国を宣言し、国連が承認した当日から、よそ者に四国ほどの土地を奪われた近隣諸国と戦争になる。エルサレム市はこの時点までヨルダンと分割統治だったが、1967年の第3次6日戦争で違法に奪い首都としたので各国は認

めず、今もテルアビブに大使館を置いている。新市街には首相官邸や米国のロスチャイルド氏の寄付で建てられた近代的な国会議事堂などの官庁はエルサレムに整っているのだが。

「嘆きの壁」に向ってつぶやくユダヤ人は、「西の壁」に向って祈る。異教徒には、壁の上奥にある金色のドームに祈っているように見えるが、ドームは後年、マホメットが昇天した岩上に造られただけなのだ。異教徒が内部に入れない平たい岩石の表面がイスラム教の聖地である。

「西の壁」とは3000年前



向こうに高さ4mの障壁壁が見える。手前がイスラエル領、向こうがパレスチナ自治領。トランプ大統領もメキシコ国境にこんな壁を作りたいのか？

にダビデ王達が造営した巨大神殿の回廊で、神殿そのものは1世紀にローマ人によって破壊され、礎石のみが残っている。ローマ人に追われたユダヤ人は2000年間世界各地に散らばり迫害を受けながらも民族を守ってきたが、遂にはナチスのホロコーストへと至る。ハンガリーのジャーナリスト、ヘルツスがシオン（エルサレム）の丘の地へ帰る運動「シオニズム」を1896年に提唱。彼は最大の功労者として、イスラエル政治指導者とは別格の、トラム終点の墓に眠る。国旗が翻るその地をヘルツスの丘と呼ぶ。

ユダヤ人のイスラエル建国は、そこに住んでいたパレスチナ人（アラブ人）こそいい迷惑である。建国時は200万人くらいがエジプト、イエーメンなどから、またソ連崩壊後、国外移住が可能になったロシアからも大量の帰還者が戻り、今はロシア系ユダヤ人が200万人、アラブ系イスラエル人も200万人、その他が400万人以上の構成だ。しかも毎年、数万人の帰還者が続いている。それとは別にパ

レスチナ自治共和国（国連に国家としてオブザーバー加盟中）として、ヨルダン川西岸とガザ地区に各々300万人ほどが生活している。これがまたややこしい政治形態で、建前はイスラエルがパレスチナ国としてやっていけるようになるまで面倒をみる責任があるのに、平均所得がイスラエルの340万円程に対して



山高帽の正統派ユダヤ教徒もその姿でチャイルドカーで養育していた。周りに同じ大きな黒いベンギン服が多数動いていた。

パレスチナ人は10分の以下だから、互いに反発しインティファダという抵抗運動、弾圧が続いた。ガザでは今も散発的に衝突が続く。しかしエルサレムは旅行者にとつては人々が落着いて暮らしているようにみえる。朝七時に市場に行くとき多くのトラックが搬入で停まっただけで、路上には生鮮品の箱が山と積まれ、物

資も豊富で物価は日本並みに高い。私が「物価が高いのは生活水準と比例する」とユダヤ人と結婚して20年の日本人ガイド嬢に話すと「四方、皆敵で国交はなく貿易もないから豊かになれるはずはない」とのこと。

「時々、ロケットが飛んで来る」建物の一部屋は防空施設を施さねば「核兵器があるかどうかは知らない」と彼女の言葉。町の要所に数人のポリスが立つが、若い人が多いからか談笑しているからか厳しい監視の雰囲気を感じさせない。女性兵士も「あれ、あの子は銃を持つてる」の印象で気軽に軽機関銃を持っている。せいか、緊迫感がない。

しかし自治政府の国境際障壁の内外ではいざとなるとどうだろうか？「ガザ紛争時、観光客は減り、経済は停滞し、就職口はなく、倒産が多かった。18歳で男子3年、女子21ヶ月の徴兵がある。戦争も徴兵も人々に大きな負担・犠牲を強いる」と今後のイスラエルの将来を諦め顔に彼女は語っていた。「中東問題は実は土地の取り合いですよ」という言葉が印象的だった。

※インティファダ=反イスラエル抗争（ヨルダン川西岸とガザ地区占領に反対するパレスチナアラブによる抵抗運動）

ぼやぼやしてたら、暗黒社会に!? 知っていますか?.

自民党改憲草案のこと

大阪市 荒木 淳子

みなさんは自民党が提唱している『自民党改憲草案』をご存知ですか。私のような法律の素人から見ても、これがないとも危なっかしい、やばい感じなんです。

昨今「改憲」が取り沙汰されるようになってから、「憲法」が注目を浴びるようになってきましたね。若手弁護士グループ主催の「憲法カフェ」が各地で行われ、プチ憲法ブームのような現象がおきました。それでわりと一般に知られるようになった(私も恥ずかしながら初めて知りました)憲法の一歩のミソは、憲法は権力が暴走し独裁になるのを防ぐため「国家権力を制限する」ものであるということです。つまり憲法は国家権力に向けられたもので、国民が守るべきものではないということ



自民党はこの手で優しく、この手で優しく国民をときほぐす

【現行憲法】第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

重擁護義務

1 全て国民は、この憲法を尊重しなければならぬ。

2 国会議員、国務大臣、裁判官その他の公務員は、この憲法を擁護する義務を負う。

どんな国家権力も暴走したり独裁になる危険性があることとは、歴史の中で証明されてきました。国の最高法規たる憲法によってその暴走にあらじめ歯止めをかけるということとは、長い時間をかけて積み上げられた人類の叡智だと、素人ながらしみじみ感心したものです。

ところが！自民党改憲草案では、ここが逆転して、憲法は国民が守るべきものになっ

よび公の秩序」に変わっていいことなんです。

【現行憲法】第13条(前略)

生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

【改憲草案】第13条(前略)

生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公益および公の秩序に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大限に最大の尊重されなければならない。

「公益および公の秩序」で真つ先に思い浮かぶのは、戦時中のキーワード「お国のため」。この改変は要するに、権力に都合のいい「公益や公の秩序」(お国のため)によって「国民の権利」を制限するということではないのでしょうか。

最後に私が実感としてすごく怖いと思った箇所です。

【現行憲法】第36条 公務員

による拷問及び残虐な刑罰は、絶対にこれを禁ずる

【改憲草案】第36条 公務員

による拷問及び残虐な刑罰は、禁止する

みなさん、どう思われますか？わざわざ「絶対」を削除するということは、場合によっては拷問も認めるということですよ。高校生の頃初めて見て、それ以来忘れられない小林多喜二の拷問死の写真がとっさに思い浮かびました。特高警察が幅を利かせていた時代のような、拷問が当たり前に行われる社会なんて、想像しただけで寒気がします。

国民一人一人が憲法改正の是非を問われる場面がもうすぐ来るかもしれません。一人でも多くの人に「自民党改憲草案」のことを知ってほしい。そしてしっかりと自分で考えて、選んでほしいと思います。

70歳の手習い 夫婦で社交ダンス 続編

兵庫県加古川市 藤田 新三



第二の人生を楽しくするため、夫婦で共通の趣味を持つことはいいことと思います。私たちにとってそれが社交ダンスです。運動にもなるし社交の場にもなり、内に籠もりがちな年配者には健康的な娯楽だと思えます。一般にダンスと称するものは、まず音楽があつて、ダンスが付随するものです。ウインナーワルツやサンバ等全ては音楽が基になっています。したがって、本来音楽が好きでなければなりません。実は私の場合は、音楽が嫌いで精々演歌を聞く

程度でしたが、その私に、妻から「一緒にダンスを」と誘われたのが、ダンスを始めるきっかけでした。そこで、妻には内緒で習い、ある日突然「俺はこれだけ踊れるんだ」と、驚かせてやろうと、通っていたスポーツジムの隣にある文化センターの社交ダンス教室に入門したのが、ダンスの始まりでした。ところが少し習い始めると、社交ダンスはそのような簡単なものではないことが分かり、そこで妻に打ち明け、妻が通っているダンススタジオと一緒に

は、男性の役目で、踊りをリードしなくてはなりません。表の主役は女性ですが、裏のホントの主役は男性と言った処でしょう。ですから私は練習量が妻より遥かに多くなり、連日レッスンに通いました。妻は私ほど社交ダンスに熱心ではありませんので、1人で相手がいるがごとく練習をすることを「シャドー」と称しますが、シャドーをすると、とんでもない方向に行きます。多くの女性がほぼ正確に踊れるから不思議

通い始めました。私がちょうど71歳に近いころでした。何事も同じですが、社交ダンスにもいろいろな約束ごと、礼儀があります。華やかなドレスを着ている女性を如何に美しく見せるか

です。練習を重ねてもダメなものは音楽的センスです。私は音楽が嫌いでありながら始めたダンスですから、以前は、よく欠点を露呈していました。リズムの取り方の難しい曲の場合、途中で女性から「少し音楽から外れていますね。置きましよう」と途中でお別れになったことが何度かあります。これは男性にとって大変惨めです。しかし、中には私のリズムに合わせ、気持ち悪いながらもついてきて下さる方もおられます。自分でも少し変だと思い、「少し音楽から外れていましたよ」と聞くと、「そうでしたね」と正直に言って下さる優しい女性もいます。特にルンバ曲はカウントがとりにくく、今でも外すことがあります。過日もパーティーで知り合いの女性

とルンバを踊ったとき、音楽からずれており、「うん？」と言われ、次のステップも考えないといけないし大変ですが、再度音楽に注意しました。その方はフルートの先生をしていますから、音楽センスは抜群ですので、私からすれば大変羨ましいことです。しかし、そのようなことを少しでも少なくするため、何とかダンス曲に馴染もうと、寝るときはダンス曲を聴きながら寝るよう努力しています。眠りについてしまいます。それでも、聞かないよりはましだろうと、続けている次第です。

編集後記

アメリカ大使館に、ホワイトハウスに抗議しよう。今年、我が国はいや世界はトランプ大統領に翻弄されることだろう。アメリカファーストなら良いが、オンリー

アメリカ政策では世界は迷惑だ。政治経験のない人物が大衆の不満を煽り、それに乗って世界中の人々の努力を無責任に崩壊させようとすることに我々は看過できない。すべてではない。

越後の良寛さんの魅力 ③

長野県 塩尻市 中島 敏正

良寛様に関しては、このシリーズの第1回で書いたようにもうすでに関連本1万種以上の本が出版されているというし、私のような浅学な者が、改めて述べる資格などないが、ちょうど今回のような寄稿のチャンスに、ある訳もあって書かせていただいた。

というのは小学校3年生の時だったか、学年の学芸会の演目が『良寛様』となり、なんと私がその主役、良寛様に抜擢されたのである(男子同学年200人位の中から)。日夜ケイコに励んできたが学芸会前日になって激しい恐怖心に襲われ、当日、仮病を使って休んでしまったのだ。いわゆる敵前逃亡である。当日はなんとかか代役を使って劇は終わったそうである。

言った。あの時の光景を今も忘れることはできない。本当にオレは卑怯者で情けない男だと思った。そしてその場面を思い出す時に良寛様のことを思う。

⑩ 典座

典座という立場は、お寺にあって、その炊事に関するいっさいの担当を任される責任者だそうである。それは園菜えんさいを作って(畑を耕して)食材を作ること含まれるが、良寛がかつて岡山県の円通寺において、10年以上も厳しい打座うちざほかの修行を続けた折、そこに30年間も座禅もせず、読経もせず、宗文の一句も道わず、ひたすら園菜を作って大衆だいじゆに供し続けていた仙桂和尚せんけいという人がいた。その時はそれを見て、なんとという人だろうかと訝いぶかしがったが、今思うと、仙桂和尚こそ真の道者であると、後に越後の五合庵に独居するようになってから、しみじみ述懐し

ているのである。

この話については、良寛が心より師と仰ぐ道元がかつて中国の宋で出会った老典座との話(正法眼蔵随聞記より)に似ているので、私は密かに二番煎じではないかと思っているのだが、それはともかくとして、要は正道を歩いていく人々だけが、道を極めるのではないということも良寛も看破したのだ。



新幹線 燕 三条駅前の良寛さん

⑪ 任天真

文政11年の新潟で起きた大地震の時に友人の山田杜阜とふに送った良寛の手紙には『災難に逢時節あうしじゆには、災難に逢あうがようく候さうかう。死ぬ時節しぬしじゆには、死ぬしぬがよく候これ。是ハ、これ災難をのがるる妙法にて候。』とある。良寛研究者にはよく知ら

れている手紙であり、またちよつと誤解されてしまいそうな文面である。現代社会では、災害に備えてこうも言っておれまい。

良寛はすべて運命を成り行きに任せきっていて、どんなことがおころうとも自分は逃げも隠れようともせず、すべて我が人生として受け取るという、まさに「任天真」であった。これは良寛の残した詩歌にも随所に残っており、いかなればいつも天意のままという覚悟と共に、自然に同化しているという所に良寛の魅力があるのだ。

⑫ 愚の自覚

越後出雲崎名主橋屋なちほなやの長男として跡目もつがず、また自ら出家して11年も円通寺で修業して道を究めながら、寺を捨てたことは風狂だが、世間からみれば、確かに愚である。この2つは、それは良寛みずから選んだ重大な選択だった。だが、自ら選んだものとは別に、愚と思わせる性癖せうへきともいべき立居振舞たちいふるまは、もともと別にあつた。幼き頃より「人称して、名主の昼行灯息子といふ。」

……北越偉人沙門良寛全伝より

また老人に至つても「師平しへい喜怒きどノ色ヲミズ其飲食そのいんじよく起居きよ舒おとほ口ニシテ愚ナルガ如ごとく」……良寛禪師奇話より。

また円通寺国仙和尚の印可の偈げの文言には「良也如愚道転寛……」読みは良や、ぐのごとく、みちうたたひろし……。訳は良寛は動作も口ものろく、一見、愚かそうに見えるかもしれないが、彼の仏道はすでにひろびろとしたところに出ているというものだ。実際、良寛は大変この印可の偈げを気に入り、しかも「愚」であることを自覚し、これこそが我が人生と、生涯となろうという決意をうかがわせるのだ。

⑬ 良寛の本質

自ら「愚」と認めることで全てを捨て去り、いわゆる生活のカテは托鉢たくはつして生きるという人として全く非生産性の道を選んだ。自分とかわつた事からのほとんどを削ぎ落とし、たどり着いた所が、とっくに捨てた名主の名跡でもなければ、外見、僧の姿はしているが、仏門の世界でもな



展示場の
200体くら

先年、東京上野で興福寺の六本の腕を持つ小さな阿修羅像が公開され、長蛇の列がでさる人気であった。日本人は仏像が好きだ。世界一の仏像数と彫刻レベルの高さだろう。宇治の平等院の阿弥陀如

来の定期（じょうぎょう）に始まり、鎌倉期の運慶、快慶など多くの仏師が全国の寺院に様々な仏像を残している。本来、仏像は信仰の対象、手を合わせて拝むものだろう。不信心者だが私は松本明慶師の仏像を秋のある

日、名古屋駅前
の名鉄百貨店での
展示会を参
観した。玄関
ホールの案内ポ
スターの仏像の
美しさに、仏像
は正に美術品だ
と感じた。

大仏師松本明慶作

十二神将申歳安底羅神

東京台東区 原野 通有

かった。仏門の世界だけには収まらない良寛がそこにはいた。良寛は円通寺を出て30歳代半ば「癡愚（ちぐ）」の人間として孤と貧に生きるものと決めて、諸国遍歴中に自分というものは本質を見出し出したものでは

ないかと思う。それは「詩人」という自分である。……「中野孝次著」……「良寛の呼ぶ聲より」私もこれに同感である。ここに一つの答えを見つけ出せた気がする。心中の思いこそが何よりも最大の関心事であり、

ほとばしり出る思いを言葉に
かえて形につくる。もって生
まれた天賦の才能は、仏教は
じめ、絵心、漢詩、歌、儒教
などあらゆるものを広く深く
早く習得していき、しかもそ
れを自分のものとして自己表
現していったのだ。

フランス語に「レーゾン・
デートル」哲学用語で「存
在価値」とか、「生まれた価
値」の意味だそう。江戸
時代、哲学という言葉はな
かったと思うが、良寛は漢
詩で、しきりに、「嗟吾胡為
者」……ああわれなんするも

のぞ……とか、「我生何処来」
……わがせいはいずこよりきた
り……からはじまってたくさ
んの心の中を写し出す、いわ
ゆる哲学的思想の漢詩をも創
作していたのだ。
まだまだ松本での月1回の
定例良寛読書会は続く……。

いの仏様の中でも私は動きと
感情がある十二神将に引かれ
た。親しみが持てたので眺め
ているとお弟子さんがめざと
く私に説明してくれた。神将
とは薬師如来を信仰する者を
守護する武神だそう。各将
は各々7000の眷属夜叉即
ち総計8万4000の家来を
率いているわけだ。それは人
間の持つ煩惱の数に対応して
いるそうで、各将は昼夜の12
の時、12の月、12の方角を守
るから十二支が配される。即
ち子、丑、虎……。興味半分
に「自分は今年の申年」と言
うと「神将はいずれも頭に干
支の動物を擁っています。申
年は安底羅（あんだら）大将で、本尊を丸
く囲む場合は9時の方角が定
位置です」とのこと。

そこに明慶師の息子さんの
明観師も来られて「楠木で
彫っています。当工房の十二
神将は京都府知事賞をいただ
いています。少しづつ姿態や
持ち物を変えた神将を彫って
もいづれも知事賞に値しま
す。中央の薬師如来は阿弥陀
様の西方と違い東方浄土にお
られ、病氣・老化を助けて下
さいます」「宝剣は右手に握
られているので手の中で剣と
東の部分に分かれます。これ
で世の精神的な悪者を断ち切
ります。左手は銅線で金メッ
キの綱を持っておられ、放す
と一瞬のうちに綱となり綱は
まとめて無限大の苦悩から助
けられます。よく見ると上腕
にも肩くわいという兜が見られ
ます」などと説明していただ
いた。

椅子に座ってからの明慶
師の話。「奈良の新薬師寺の
十二神将は学校の美術の授業
にも出てきて皆さんも知って
おられるでしょう」「何かあ
れと雰囲気が違う」「そう、
あれは塑像、粘土、土ででき
ているんですよ。何か白っぽ
いでしょう。特に怒りの表情
の豊かさ、激しさが観る人の
心に残るのでしょうね。平安
時代以降は木像に変わって、同
時に頭上に十二支の動物を戴
くものが多くなってきました
」「ナルホド、ここにある動
物も高野山の開基1200年
の中門に納められた四天王の
廣目天や増長天のセミヤトン
ボも現代人に馴染む工夫です
かね」「我々仏師は日本文化
を受継いで来ましたし、次世
代に伝えねばなりません」「
宗教仏、美術品、その上に工
房の経営の3つの上に伝統の
継承の役割もあるわけですね
」「明慶さんの作品には色ん
な思いが、お弟子さんの手と
共に彫り込まれているのだな
と感じつつ名古屋を後にした。

恭子の日記 ⑨

もうすぐ嫁ぐわが子へ



お母さんが33歳の時、アメリカ ニューヨーク ブロンクス の病院のストレッツチャーの上であなたを産んだ。

見知らぬ街、上2人の時とは違って初めて頼みの親もない。しつかりしなければと言いついて聞かせた。

我慢強く来院し、病院に着くなりベッドに移る間もなく、ストレッツチャーの上であなたを産んだ。担当医も間に合わない。握る柵もない。

お父さんのベルトを握り締め小さなあなたを産んだ。お父さんがへその緒を切り、あなたはこの世に現れた。小さな指をお父さんに伸ばしお父さんの顔を見るときあなたはにっこり笑った。

知らない外国であなたは勇気を出

して生まれてくれた。

次の日3歳と5歳のお兄ちゃんとお姉ちゃんがこういったの。「お母さん赤ちゃんを産んでくれてありがとう」って。そしてお兄ちゃん「はまた、こう言って幼稚園をやめたのよ」「僕赤ちゃんのお世話があるから幼稚園やめるよ」って(笑)。

お父さんは当時貧しい研究者だったけど、仲間が多くたくさんの方があなたを見に来てくれた。1週間で50人もの方があなたを抱っこし祝福してくれた。お母さんは喜びで横にもならずお迎えをしていたら、疲れで丸一日目が見えなくなってしまうたの。仲良しの友人がお母さんを部屋に避難させ、休ませてくれ、接客を全部引き受けてくれたおかげですぐに回復をしたのよ。

喜びと感謝のうちに祝福を受けてお母さんのそばに来てくれたあなたが、ずっとずっと愛おしかった。

あなたもお母さんが大好きで、お互いの愛の内にいる幸せ

はずっとこれからも続くようにも思えた。だけどその愛をまた、次の世代に伝えるために、あなたはクリスマススの日に愛する素敵な若者を連れてきた。愛に溢れたこの若者が、私の大切なあなたをこれからは守ってくれるのかと思うと、嬉しかった。茨の道も歩くでしょう。だけどこの若者となら乗り越えていける。自分よりも相手の幸せを思う心、相手に感謝する心さえあればどんな険しい山道も登れる。

あなたを産んだ時、元氣だったお母さんの体も、時々軋む(きしむ)ようになった。髪の毛も白くなった。だけど苦しい道を歩く時は思い出してほしい。愛があればへこたれず生きていけることを。お父さんとの愛から生まれた私の愛しい子、これからはお母さんは年老いたお父さんといたわりあって生きていく。

いつまでも愛しい子の幸せを願いながら。 母

画柳会代表 横浜市 中田恭子